

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公表番号】特表2018-513227(P2018-513227A)

【公表日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2017-545351(P2017-545351)

【国際特許分類】

|        |        |           |
|--------|--------|-----------|
| C 08 G | 18/40  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/00  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/08  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/76  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/44  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/48  | (2006.01) |
| C 08 G | 18/42  | (2006.01) |
| B 60 N | 3/04   | (2006.01) |
| A 47 C | 7/18   | (2006.01) |
| B 60 N | 2/58   | (2006.01) |
| B 60 R | 13/02  | (2006.01) |
| C 08 G | 101/00 | (2006.01) |

【F I】

|        |        |       |
|--------|--------|-------|
| C 08 G | 18/40  | 0 1 8 |
| C 08 G | 18/00  | H     |
| C 08 G | 18/08  | 0 3 8 |
| C 08 G | 18/76  | 0 1 4 |
| C 08 G | 18/44  |       |
| C 08 G | 18/48  |       |
| C 08 G | 18/42  | 0 4 4 |
| C 08 G | 18/48  | 0 6 6 |
| B 60 N | 3/04   | C     |
| A 47 C | 7/18   |       |
| B 60 N | 2/58   |       |
| B 60 R | 13/02  | A     |
| B 60 R | 13/02  | B     |
| C 08 G | 101/00 |       |

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月19日(2019.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A 1 50 ~ 100重量部の、150mg KOH / g ~ 300mg KOH / g のDIN53240に従った水酸基価を有する少なくとも1種のポリエーテルカーボネートポリオール、

A 2 50 ~ 0重量部の、20mg KOH / g ~ 250mg KOH / g のDI

N 5 3 2 4 0 に従った水酸基価を有し、かつ、カーボネート単位を含まない少なくとも 1 種のポリエーテルポリオール、

A 3 成分 A 1 および A 2 の重量部合計に対して 0 . 5 ~ 2 5 重量部の水および / または物理的噴射剤、

A 4 成分 A 1 および A 2 の重量部合計に対して 0 ~ 1 0 重量部の少なくとも 1 種の酸化防止剤、

A 5 成分 A 1 および A 2 の重量部合計に対して 0 ~ 1 0 重量部のアジュバントおよび添加剤、

を含む成分 A と、

B 2 , 4 - および / もしくは 2 , 6 - T D I ならびに / または 2 , 4 - および / もしくは 2 , 6 - T D I から誘導された修飾ポリイソシアネート、あるいは、これらのイソシアネートと他のジおよび / もしくはポリイソシアネートとの混合物であるジおよび / またはポリイソシアネート

を含む成分 B との反応により粘弾性ポリウレタンフォームを製造する方法であって、

成分 A と成分 B との反応を、7 0 ~ 1 3 0 のイソシアネートインデックスにおいて実行し、前記重量部 A 1 + A 2 の合計が前記組成物中 1 0 0 になるように成分 A 1 ~ A 5 の全重量部データを増減する、方法。

#### 【請求項 2】

成分 A 4 が、成分 A 4 . 1 として、アミノ基を含まない酸化防止剤を、成分 A 1 および A 2 の前記重量部合計に対して 0 . 0 2 ~ 5 . 0 重量部含有し、成分 A 4 . 2 として、1 種以上のアミノ基を有する少なくとも 1 種の化合物を含んでなる酸化防止剤を、成分 A 1 および A 2 の前記重量部合計に対して 0 . 0 2 ~ 5 . 0 重量部含有し、成分 A 1 の総含有量が、成分 A 1 および A 2 の前記重量部合計に対して特に 0 . 0 4 ~ 1 0 . 0 重量部であることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

#### 【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法により得られる、ポリウレタン軟質フォーム。

#### 【請求項 4】

椅子張り、編織物インレイ、マットレス、カーシート、ヘッドレスト、アームレスト、スponジ、ルーフライナーなどの自動車パーツ用途のフォームホイル、ドアクラッド、シートカバーおよび建築用構成部材の製造のための、請求項 3 に記載のポリウレタン軟質フォームの使用。

#### 【請求項 5】

粘弾性ポリウレタンフォームの製造のための、1 5 0 m g K O H / g ~ 3 0 0 m g K O H / g の D I N 5 3 2 4 0 に従った水酸基価を有する少なくとも 1 種のポリエーテルカーボネートポリオール A 1 、および 2 0 m g K O H / g ~ 2 5 0 m g K O H / g の D I N 5 3 2 4 0 に従った水酸基価を有し、カーボネート単位を含まない少なくとも 1 種のポリエーテルポリオール A 2 を含んでなるか、またはからなるポリオール成分の使用であって、

前記ポリオール成分が前記ポリエーテルカーボネートポリオール A 1 を 5 0 ~ 1 0 重量 % および前記ポリエーテルポリオール A 2 を 5 0 ~ 0 重量 % 含有する、使用。